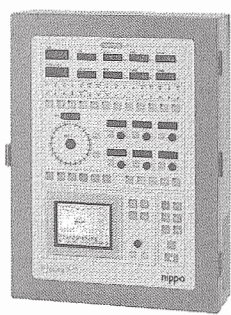


ニッポ
統合環境制御盤が好評
クラウドサービスも12月開始



ハウスナビ・アドバンス

回「ハウスナビ・アドバンス」のさらなる省力化対策として、離れた場所から炭酸ガス施用などを相互に連携させ、ムダが無くバランスのとれた環境づくりを行い、収量・品質向上を図ることができ、ハウス内外に設置した温度・湿度・CO₂・土壌水分・日射・雨の各センサーで計測したデータを元に自動で制御する。また、パソコンとつないで環境データを収集し、数値、グラフ化して見ることができ、誰でも簡単に操作できるわかりやすさも魅力で好評を集めている。12月より開始するクラウドサービス「アイファームクラウド」を用いることでさらなる省力化を図ることができ、

(株)ニッポ 埼玉県川口市川口2-13-20
 ☎048(2)532788
 が製造・販売している、ビニールハウス内の環境を自動で制御する統合環境制御盤「ハウスナビ・アドバンス」が、九州全県への導入を達成するなどその勢いを伸ばしているが、今

「ハウスナビ・アドバンス」はバラバラだった換気・暖房・カーテン、

EyeFarm Cloud
 アイファーム・クラウド



遠隔管理でさらなる省力化を

「アイファームクラウド」の特徴
 ①自宅や外出先からでもスマートフォンやタブレットを用いて、天窓の開閉やカーテンの操作などハウス内の環境機器の遠隔操作可能②地域の生産者グループや仲間同士でデータの共有・比較ができ、栽培環境の確認や見直しに役立てることができる。さらにメッセージ機能を使えば、データを基にグループ内で意見交換も可能③現在農業用環境測定装置はさまざまなメーカーの機器が普及していることに着目し、異なるメーカーの測定データでも簡単に集計、比較することができ、機能を搭載。産地のパワーアップに取り組み県普及員や営農指導員を強力にバックアップする。